


教育事業名	平成28年度教育事業			
	ふれあい通学合宿			
事業の趣旨	規則正しい生活をする事により、自分で生活と学習のリズムを作れるようになるとともに、新しい環境・人間関係の中でも、積極的にコミュニケーションをとることができる子どもの育成を目指す。			
対象者	室戸市内の小学校5・6年生			
実施期間	平成29年2月19日(日)～平成28年2月25日(土)6泊7日			
参加者/定員	36名/58名			
活動プログラム				
事業の内容	2/19 (日)	2/20～23 (月)～(木)	2/24 (金)	2/25 (土)
朝		6:00 起床・洗面 6:50 朝食 7:15 自然の家発	6:00 起床・洗面 6:50 朝食 7:15 自然の家発	6:30 起床・洗面 7:30 朝のつどい 朝食・清掃 退所点検 振り返り 9:50 閉会式・退所
昼	14:00 自然の家着 開会式 オリエンテーション 15:00 アイスブレイキング 16:00 草スキー 16:40 移動	学校	学校	
夕	17:15 夕食 18:15 仲間づくり 20:30 入浴 21:10 班会 22:00 就寝	17:00 タベのつどい 17:15 夕食・洗濯 18:30 宿題 19:30 レクリエーション等 20:30 入浴 21:10 班会 22:00 就寝	17:00 タベのつどい 17:15 夕食 18:15 キャンドルファイア 20:30 入浴 21:10 班会 22:00 就寝	
<p>2月19日(日)</p> <p>室戸市内6つの小学校から5・6年生36名が集まり、本年度のふれあい通学合宿が始まった。交流のある学校の児童同士は顔見知りの仲だったが、これから始まる1週間への不安と緊張からか、表情が硬い参加者が多かった。しかし、アイスブレイキングや草スキー、夕食、班目標の旗作り、1週間のテーマソング「僕らのハーモニー」の練習等、班の活動を多く取り入れたことで、緊張感の中にも少しずつ笑みが見られるようになってきた。</p>				
				
			【班目標の旗作り】	

② 2月20日(月)～23日(木)

規則正しい生活習慣と学習習慣を身につけるために、1時間の学習の時間を設けた。学習時間中は静寂の中で集中して学習に取り組み、分からないことがあっても友達や法人ボランティアにすぐ聞くのではなく、自分で教科書を見直したり辞書をひいたりする等、自ら学べる環境作りを重視した。宿題が早く終わった児童には読書や法人ボランティアが作った問題に取り組ませた。また、時間のかかる児童には法人ボランティアや職員がつき、個別に学習支援を行うと共に、宿題全てが終わるまで見届けた。

全員が揃う21日、23日の学習終了後には、法人ボランティアが主体となってレクリエーションを行った。

③ 2月24日(金)

最後の夜ということで、食堂でお別れパーティをした後、キャンドルファイアを行った。静粛な雰囲気の中、班ごとに輪を作って一週間を振り返り、自分が成長したと感ずることや印象に残ったことを伝え合った。

翌日に試合があるため、8人が退所することになった。友達を見送るため正面広場に全員が集まり、別れを惜しみ、名前を呼びながら手を振る姿が見られた。



【キャンドルファイア】

④ 2月25日(土)

朝食後、一週間友達と生活を共にした宿泊棟の清掃を丁寧に行った。暖かく晴れ渡った青空の下、前日振り返った一週間の思い出をみんなの前で発表した。退所時には、親しくなった他校の友達と午後一緒に遊ぶ約束をする姿も見られた。

友達や法人ボランティアとの別れを惜しみながらも、みんな笑顔で満足した表情で帰っていたのが印象的だった。



【全体で輪を作り、発表】

事業の成果

- ・ 室戸市内の学校の大部分が少人数学級なので、限られた友人関係の中で生活をしている児童が多いが、今回の事業を通して子どもたちの新たな交友を生み出すことができた。初めは同じ学校の児童同士でくっついたり男女が分かれたりと、どこかぎこちない関係が見られたが、合宿後半になると積極的に関わろうとする様子や明るい笑顔がいろいろな場面で多く見られた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日 1 時間の学習時間を設けたが、宿題にかかる時間は個人差が大きい。そこで本年度は学校の図書室で本を借りて来させ、早く終わった児童は静かに読書をしたり、法人ボランティアの作成した問題に取り組んだりして静かに過ごさせた。宿題に 2 時間以上かかる児童は、21 日のレクに参加できなかったが、翌日からは、夕食後の自由時間から自主的に宿題に取りかかるようになり、学習時間後の活動にも参加できるようになった。 ・ 昨年度の「プログラムにゆとりがなかった」という反省から、本年度は学習時間後のレクの回数と時間を減らし、代わりに短時間でできる「小刀で鉛筆削り」「流木ストラップ作り」を実施した。1 名が喘息で 4 日目の夜に帰宅したものの、残る 35 名は一週間規則正しい生活リズムで健康に過ごすことができた。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終日である土曜日にスポーツの試合等があり、金曜日の夜に保護者が迎えに来て帰宅する児童が 8 名もいた。平日の夜も練習のため所に帰ってくる時刻が遅くなり、全員そろって学習やレク、振り返り等を行うことが非常に難しい。昨年度の反省から金曜日のキャンドルファイアの中で一週間の振り返りを行ったが、最終日の土曜日に比べると時間も短く、じっくりと自分と向き合い、一週間の成長を感じさせることが困難である。 ・ 「早寝早起き朝ごはん」が実践でき、参加者からも「生活リズムが良くなった」との感想があったが、学校までの移動時間を考えると、朝食後すぐバスや車に乗り込んで出発しなければならない。キャンドルファイア中に腹痛を訴えた児童は便秘が原因だった。朝食後に 5~10 分のゆとりを持てるかが課題として残った。+
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多い人数でお風呂に入ったり食事をしたりすることが楽しかった。 ○ 学校関係なくみんなが関わり合えたのでいいと思う。 ○ 他校の友達とも仲良くなり、いっぱい話せたので良かった。 ○ 自分から行動することができるようになった。 ○ 生活リズムが良くなった。 ○ 家の住みごごちがいいことと、親のありがたみが分かった。 ○ 積極的に話せるようになった。 ○ あまり人見知りをしなくなった。 ○ 誰とでも仲良くなった。 ○ とても笑えるようになった。 ○ 食堂のご飯が毎日違っておいしかった。 ○ ボランティアリーダーの考えたレクリエーションが楽しかった。 ○ 宿題の間違いが減った。 ○ 中学生まで対象範囲を広げてほしい。 ○ 自由に遊べる時間がもっとほしかった。 ○ 少し決まりが多すぎて、しぼられているような感じだった。 ○ 毎日起きるのがしんどかった。